

登録コード	HS430800	開講年度	2026				
授業題目	緑地計画学特論				担当教員	大窪 久美子 他	
英文授業名	Advanced Landscape Architecture				副担当	上原 三知	
単位数	2	講義期間	通年(集中)	曜日・時限	集中・不定期		対象学生
				授業形態	講義	備考	
信大コンピテンシー	非該当						
(1)授業の達成目標/Course objectives	ディプロマポリシー・授業で得られる「学位授与の方針」要素				(授業の達成目標)		
	2026HS加, 2025HS加, 2024HS加, 2023HS加						
	【専攻】理工学系分野における課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力				ランドスケープデザインに関する課題の本質を見抜き解決方法を見出す洞察力を獲得する。		
(2)詳細 /Detailed information	自然公園や都市公園などの緑地空間が、どのように生み出されてきたのか、自然をどう捉えてきたのか、今日に至るまでどう計画されたのかについて、ランドスケーププランニングからの視点も含み、歴史的な展開と現状を概説します。						
(3)授業の概要 /Overview of course	1. 自然公園や都市公園などの緑地空間が、どのように生み出されてきたのか、自然をどう捉えてきたのか、今日に至るまでどう計画されたのかについて、ランドスケーププランニングからの視点も含み、歴史的な展開と現状を概説します。 2. 緑地や景観に関する保全への理解を深め、さらによりよい生活環境を育むための生物多様性維持と人との共生を図る、今日の緑地計画学における重要性について理解を深めます。 3. 緑地計画学の研究領域が、人と自然との共生に対して、いかに寄与できるかについての理解を深めます。 4. 受講者の特性に合わせて、事前協議により、フィールド研究、学会参加等の学外における授業も活用します。						
(4)授業計画 /Course plan	1. 授業計画ガイダンス 2. 緑地計画学トピックス 1 3. 緑地計画学トピックス 2 4. 緑地計画学トピックス 3 5. フィールド研究1、立案協議 6-9. フィールド研究1(2日間) 10. フィールド研究2、立案協議 11-14. フィールド研究2(2日間) 15. 総合論議						
(5)成績評価の方法 /Grading/evaluation method	演習の内容が概ね理解できていれば「その水準にある」、十分に理解できていたら「やや上にある」、十分に理解し、応用力があれば「かなり上にある」、とてもよく理解し、応用、さらに発展できる力が備わっていれば「卓越している」						
(6)成績評価の基準 /Grading/evaluation criteria	。総合得点が80点以上を優、60～80点を良、60～50点を可、と評価します。出席が6割以下の学生は不可とします。						
(7)事前事後学習の内容/Prep and review work	特になし						
(8)履修上の注意 /Notes	電子メール等によるコミュニケーション、レポート報告書提出、を多用するので、各自メールを随時確認して下さい。						
(9)質問,相談への対応/Questions and requests for advice	講義中および終了時に対応します。						
(10)授業の形式 /Course format	個別に指示する						
【教科書 /Textbook(s)】	その都度、参考となる関連論文を指示します。						
【参考書 /Reference work(s)】	その都度、参考となる関連論文を指示します。						